

# 切り花・鉢物の 伸長抑制、品質向上に!



きく(切花用)に対するメリット

効率良く  
ボリューム感が出せる。  
節間がつまり、  
花首の伸長を抑制。



植物成長調整剤(施設栽培用) ダミノジッド水溶剤

# ピーナイン<sup>®</sup>

## 顆粒水溶剤

植物成長調整剤(施設栽培用)

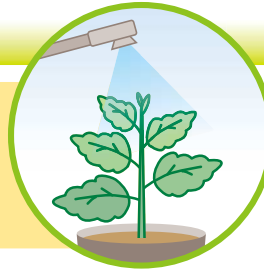
有効成分：ダミノジッド… 80.0%  
 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

# ビーナイン<sup>®</sup> 顆粒水溶剤



## 上手な使い方

作物の生長点を中心に莖葉散布することにより、その後の生育を抑え、草丈を短くすることができます。



- ・花きの伸長抑制に使用する場合、種類、濃度等によって効果の持続期間が異なるので、必要に応じて散布濃度や使用回数を調整してください。
- ・散布前に、しっかり株元灌水してください。

## 適用作物と使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダミノジッドを含む農薬の総使用回数
きく(切花用) (施設栽培)	花首の伸長抑制	500~5,000	50~150ℓ/10a	発蕾期~摘蕾期	2回以内	莖葉散布	6回以内
生育期				4回以内			
きく(ポットマム) (施設栽培)		200~400	5~10ml/5号鉢	摘芯後7~10日又は定植3日後から発蕾初期	3回以内		3回以内
ポインセチア(施設栽培)		100~200	50~150ℓ/10a	定植後3~30日	1回		1回
ハイドランジア(施設栽培)				育苗期摘芯後10~30日	2回以内		4回以内 (育苗期は2回以内、定植後は2回以内)
はばたん(施設栽培)				定植後3~30日			
				子葉展開後鉢上げ後			
パチュニア(施設栽培)		100~200	200~400	定植後2週間目	1回		6回以内 (水溶剤は4回以内)
アザレア(施設栽培)		150		鉢上げ後	4回以内		
あさがお(施設栽培)		200~400	200~400	摘芯後30~40日	1回		3回以内
パンジー(施設栽培)	400~800	200~400	摘芯後30~120日	3回以内	3回以内		
シクラメン(施設栽培)	花梗・葉柄の伸長抑制	300	7ml/4号鉢	本葉5~7枚の時	1回	1回	
しゃくなげ(施設栽培)				節間の伸長抑制、着蕾数増加	75~100	100ml/5号鉢	新梢伸長完了期を1回目として3回処理(1カ月間隔)

### ⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 移動可能な容器(鉢、プランター、コンテナ等)を用いて栽培する場合、施設の外に移動して栽培・管理する期間は、本剤を使用しないでください。又、施設を撤去して栽培・管理する期間は、本剤を使用しないでください。
- 散布の際は、作物の生長点を中心に葉面散布してください。
- 銅製剤との混用及び近接散布は薬害を起こすのでさけてください。銅製剤散布前の使用は3日前までに散布を終えてください。銅製剤散布後の使用は1カ月以上の間隔をあけてください。
- 銅製剤を調製した容器や散布に用いた器具は、薬害のおそれがあるので十分洗浄してから使用してください。
- はばたんについて以下のことを注意してください。
  - ・子葉展開後から使用する場合は、1回目は播種後10日目を、2回目は播種後20日目を目安に散布してください。また3回目は鉢上げ3~5日後を、4回目は3回目処理の1週間後を目安に散布してください。
  - ・使用時期が遅い場合には着色が遅延する場合があるので、適切な使用時期を逸さないよう注意してください。
- パチュニアについて以下のことを注意してください。

- ・鉢上げ後に使用する場合は、1回目は鉢上げ1週間後を目安に散布し、2回目以降は1~2週間程度の間隔で散布してください。
- ・着蕾期に使用すると花色が薄くなる場合や、花が小型化する場合がありますので、着蕾期の使用はさけてください。
- パンジーに使用する場合は、1回目は鉢上げ後1週間後を目安に散布し、以降は1週間程度の間隔で散布してください。
- シクラメンについて以下のことを注意してください。
  - ・複数回処理する場合は、必ず花芽揃期に1回散布し、散布間隔を1カ月程度空けてください。
  - ・花梗再伸長時の処理では、花卉の小型化や開花の遅延などの薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- 植物成長調整剤であり、乱用すると生育に悪影響を及ぼすので、所定の使用量、使用方法及び使用回数を必ず守ってください。
- 花きの種類、散布液の濃度等によって効果の持続期間が異なるので、必要に応じて繰り返し散布してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

### ⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣類を交換してください。
- 作業時に着用していた衣類等は他のものとは分けて洗濯してください。



保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥したところに保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

**日本曹達株式会社**  
 〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号  
 お問合せ (03)4212-9655  
 (平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



最新の登録内容、SDSはこちら

本資料は、2024年2月現在の登録内容に基づいています。